

浜松市 J-クレジットの取組について



責任ある森林管理
のマーク

浜松市産業部林業振興課



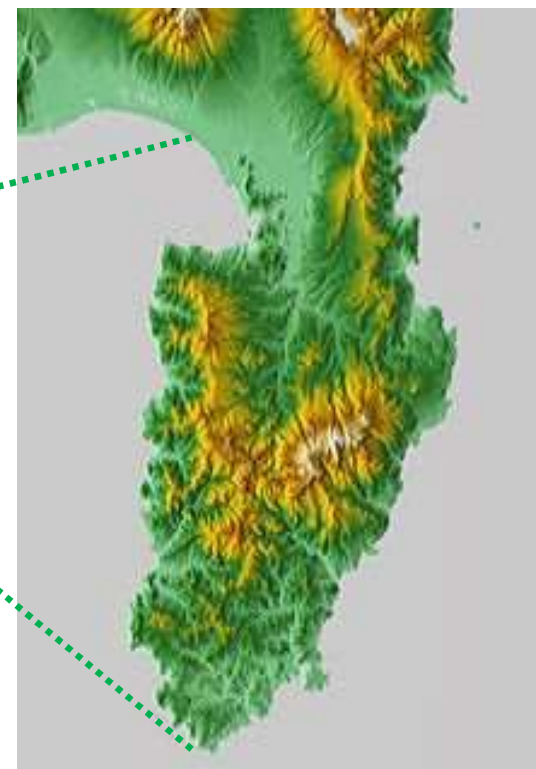
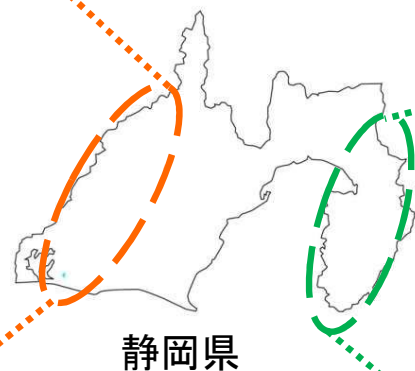
浜松市の森林の特徴

浜松市 **1,558.11km²** > 伊豆半島 1,421.24km²

(市町村別面積全国2位)

平成17年7月1日
12市町村合併

平成19年4月1日
政令指定都市移行



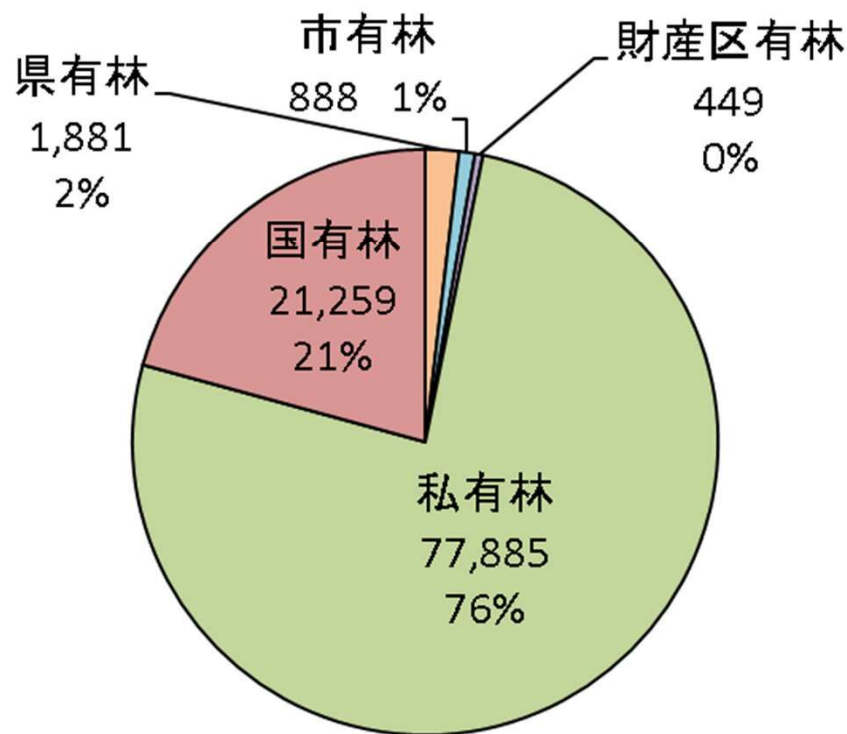
市域面積の66%にあたる**1,030km²が森林**

浜松市の森林の特徴

- 浜松市の森林の特徴としては、私有林が多く、更に、非常に人工林が多い
- 人工林については、スギ、ヒノキの面積が大部分を占める（スギ：62.5%、ヒノキ：34.9%）

浜松市の森林の状況

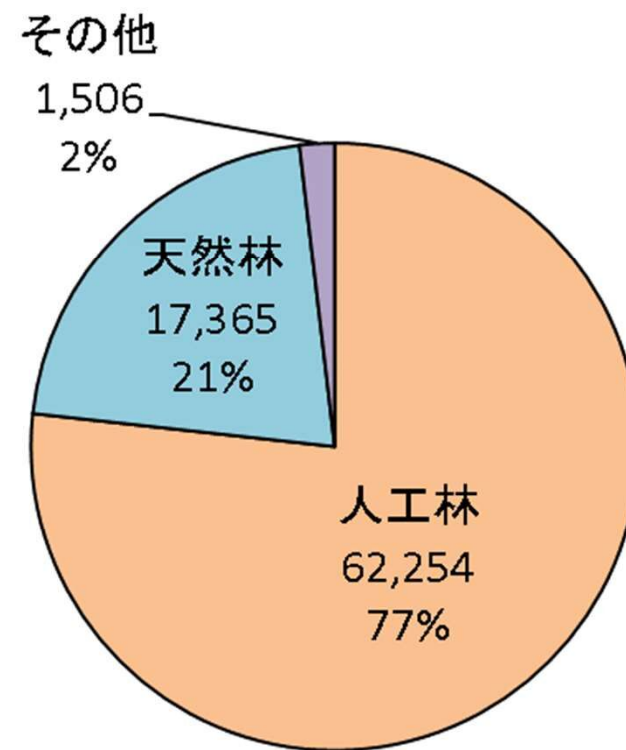
(単位:ha)



出典／静岡県森林・林業統計要覧
(令和5年度版)

うち私有林の状況

(単位:ha)



出典／静岡県森林情報システム
(令和6年3月31日現在)

浜松市におけるFSCの取得・推進

浜松市におけるFSCの取得状況

- 2010(H22)年、**天竜林材業振興協議会**(市、国、県、市内6森林組合からなる団体)にてFSC(FM)グループ認証を取得
- **森林組合が連携して取得したのは、全国初の事例**
- **市町村別認証取得面積は全国1位、取得者別では全国2位**(約49,859ha)
- 市内のCOC取得者数(木材関係)は約70事業者で、素材生産業者をはじめ、製材・加工業、建築業等が取得しており、**全国で最もFSCのサプライチェーンが繋がっている地域**のひとつ

[FSC取得面積と材積(R6.4.1現在)]

森林組合名	森林面積 (ha)	FSC認証林面積 (ha)	認証取得割合 (%)	FSC認証林 想定蓄積量(m ³)
天竜	14,933	14,025	94%	4,349,590
春野	23,191	13,401	58%	4,012,549
佐久間	15,405	5,017	33%	1,748,164
水窪	26,163	3,772	14%	1,034,598
龍山	6,593	4,399	67%	1,837,084
引佐	8,594	2,690	31%	709,050
その他	7,649			
市有林		641		23,731
県有林		975		190,896
国有林		4,939		1,264,912
計	102,528	49,859	49%	15,170,573

※「その他」は、旧浜松市、旧浜北市、旧舞阪町、旧砥踏町、旧細江町、旧三ヶ日町
 ※市・県・国有林の森林面積は、各管内の森林組合の面積に含む



天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業【J-クレジット】

- モデル地域にて、市内の民有林(私有林)を対象としたJ-クレジットを創出
- 天竜林材業振興協議会にてクレジットを創出・販売
- クレジットの売上金の一部活用により、更なる森林整備を促進

J-クレジット創出者

○天竜林材業振興協議会



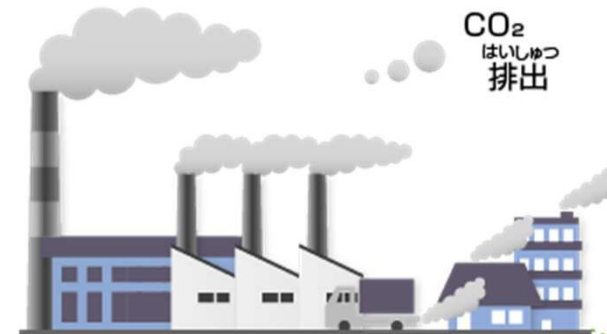
森林組合

3森林組合が
プロジェクト実施者
・天竜森林組合
・春野森林組合
・龍山森林組合

販売

J-クレジット購入者

○市内企業を中心にJ-クレジットを販売



売上金の活用

- ・森林整備費用
(更なる間伐施業や森林作業道の補修、災害復旧等)
- ・今後のクレジット申請、販売管理に係る費用
- ・森林所有者への還元 などを予定

分配

天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業の取組

- プロジェクトの対象は全てFSC認証林
- 天竜、春野、龍山森林組合がプロジェクトの実施者であり、クレジットの所有者
- 天竜林材業振興協議会は共同実施者として申請

【プロジェクトの詳細】

プロジェクト実施者	対象面積 (ha)※	クレジットの発行予定量(t-CO2)※	クレジットの発行時期
天竜森林組合	67.81	3,540	R8末に発行予定 左記予定量のうち 1,578t-CO2
春野森林組合	80.6	4,434	
龍山森林組合	118.59	7,687	
合計	267.00	15,661	

- 森林の管理者(経営計画の樹立者)である森林組合がプロジェクトの実施者
- 協議会との共同でクレジットの創出・販売を行うことで、効率的なクレジット創出を実現。販売時のスケールメリットも見込む。



クレジット創出の体制(役割分担)【J-クレジット】

実施年度	作業内容	実施者
R5	登録する森林経営計画、実施地の選定	森林組合
R5	過去の施業履歴(間伐、下刈り等)のとりまとめ	
R5	森林所有者への説明及び承諾書のとりつけ	
R6	プロジェクト実施地の巡視作業	
R5	<u>三次元点群データの解析</u> <u>(市内FSC認証林約2万haを対象)※</u>	市役所
R5~6	申請書類作成、申請手続き	
R6	<u>市内事業者を中心とした市場調査</u> ※	
R6	妥当性確認審査契約、審査対応	市と森林組合の共同
R7	検証確認審査契約、審査対応	
R7	<u>クレジットの販売スキームの構築</u> ※	

※天竜美林カーボンオフセットモデル創出事業にて実施

<令和7年度の取組>

○モニタリング報告書作成、検証審査の実施により、クレジットを発行

○市場調査結果を基に、クレジットの販売スキームを構築

- ・FSCの解像度を高め、分かりやすく購買層に伝えていくことが必要
- ・地域貢献、環境貢献に意識の高い企業を対象とした意向の聴取
- ・クレジット販売に併せた、森林体験や天竜材のPR等の手法検討

○継続的にクレジットの創出・販売を行うことができる体制づくり

- ・森林組合等による持続可能な運営体制の構築、勉強会の実施、マニュアルの作成等

○市内事業者へのクレジット活用機運の醸成

- ・カーボンニュートラル達成に向けた取組みの必要性、理解度の向上

<令和8年度以降の取組>

○企業(市内外)へのクレジットの販売

○企業側の森林貢献活動への支援(企業との連携)

○今後のJ-クレジット創出への支援